

令和5年度岐阜県農業ジョブコーチ養成研修開催要領

- 1 開催目的 農福連携に取り組む農業者等を現場で支援する「岐阜県農業ジョブコーチ」の養成
- 2 主催 一般社団法人岐阜県農畜産公社
(ぎふアグリチャレンジ支援センター)
- 3 開催日時 1日目 令和5年11月14日(火) 午前9時15分～午後3時25分
2日目 令和5年11月17日(金) 午前9時00分～午後4時15分
(2日間参加をお願いします)
- 4 開催場所 岐阜県中濃総合庁舎 別棟会議室(両日とも)
美濃市生櫛 1612-2 (代表) 058-215-1503
- 5 内容 別紙1のとおり(タイトルは仮称です。)
- 6 対象者 県内在住の農業関係者で、岐阜県農業ジョブコーチとして活動可能な方
(農業関係者の例:障がい者農業就労支援サポーター経験者、指導農業者、女性農業経営アドバイザー、青年農業者、JA営農指導員経験者、農業普及指導員経験者等)
- 7 募集人数 10名程度
- 8 申込方法 別紙2申込用紙に必要事項を記入し、FAXで(一社)岐阜県農畜産公社農福連携推進室へお申し込みください。
- 9 申込期限 令和5年11月8日(水)

岐阜県農業ジョブコーチ

- ・雇用や障害福祉サービス事業所への作業委託により障がい者を受入れる農業者の農業現場において、農福連携の取り組みが円滑に行われるようアドバイスする。
- ・農業者には障がい者との接し方や作業指示の方法、治具の工夫など、障害福祉サービス事業所職員や障がい者本人には作業手順や作業方法などを助言。
- ・岐阜県農畜産公社理事長は、養成研修会の修了者を岐阜県農業ジョブコーチに登録し、農業者の要請に応じて派遣する。この際、1回(日)5,000円(活動時間が3時間に満たない場合は1時間あたり1,000円)の謝金と公社職員に準じた旅費を支給する。

農福連携

- ・農業サイドと福祉サイドが連携して、農業分野における障がい者の就労を促進する取り組み。農業者による障がい者の雇用、農作業の受・委託、障害福祉サービス事業所や特例子会社の農業参入などの形態がある。農業サイドの高齢化・人手不足などの課題、福祉サイド(就労系障害福祉サービス事業所等)の就労の確保、工賃向上などの課題の解決につながると期待される。

障害福祉サービス事業所

- ・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを行う事業所。就労系障害福祉サービス事業所は、一般的な就職が難しい障がい者に、就労の場の提供と一般的な就労に向けた訓練を行う。

別紙 1

◆令和5年度岐阜県農業ジョブコーチ養成研修カリキュラム

《第1日目 令和5年11月14日(火) 中濃総合庁舎 別棟会議室》

- ① **農福連携概論(9:15-9:45)** (ぎふアグリチャレンジ支援センター)
 - ・農福連携の概念、県(公社)の支援事業、岐阜県農業ジョブコーチの役割・活動等
- ② **障害者福祉と岐阜県の施策(9:50-10:35)** (岐阜県障害福祉課)
 - ・障害者福祉の基礎、障害者総合支援法によるサービス、岐阜県の障害福祉施策等
- ③ **障害福祉サービス事業の運営と実務(10:40-11:25)** (岐阜県障害福祉課)
 - ・就労系障害福祉サービス事業の概要、指定基準、運営、施設外就労・施設外支援等
- ④ **障がい特性に対応した農作業支援技法①(座学)(11:30~12:00)**
(株式会社 JA ぎふはっぴいまるけ真正事務所長 服部 努氏)
 - ・事業概要、農業と周辺産業、地域コミュニティとのつながり、利用者の安全確保、環境整備、体調管理、作業割当技法、手順説明、難易度評価、成果達成のための工夫等
- ⑤ **障害特性と職業的課題の基礎(13:00-14:00)**
(国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学名誉教授 池谷尚剛氏)
 - ・障害の一般的特性と職業的課題・支援方法、特別支援学校における作業学習
- ⑥ **障害者雇用の現状、障害者雇用施策、障害者就労支援機関との連携(14:05-14:50)**
(岐阜労働局職業安定部職業対策課)
 - ・障害者雇用の現状と雇用施策、障害者職業センター等支援機関との連携
- ⑦ **障がい特性に対応した農作業支援技法②(座学)(14:55-15:25)**
(株式会社 TFF 辻 理恵氏)
 - ・事業概要、農業と周辺産業、地域コミュニティとのつながり、利用者の安全確保、環境整備、体調管理、作業割当技法、手順説明、難易度評価、成果達成のための工夫等

《第2日目 令和5年11月17日(金) JAめぐみの関カントリーエレベーター、 中濃総合庁舎 別棟会議室》

- ① **農作業における作業細分化、難易度評価、作業割当技法(実習)(9:00-12:00)**
(株式会社DAI代表取締役 中島 憲吾氏)
 - ・事業概要、農業と周辺産業、地域コミュニティとのつながり、利用者の安全確保、体調管理、作業割当技法、手順説明、難易度の評価、成果達成のための工夫等
- ② **世界の福祉農業、日本の農業と障害福祉の連携、岐阜大学の農福連携の取組(13:00-14:00)** (国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学教授 大場伸哉氏)
 - ・農業への社会的要請、世界の福祉農業、岐阜大学における農福連携の取組み等
- ③ **農業者による農福連携の経営実務(座学)(14:05~15:25)**
(有限会社H&Lプランテーション代表取締役 鶴飼 敏之氏)
 - ・障害者に適した作物等の選択、障がい者に適した農法の選択、障がい者に割り当てる作業の選択、農業者が通常取っている合理的行動等
- ④ **国・県の農福連携施策(15:30-16:00)** (岐阜県農業経営課)
 - ・国・県の農福連携施策、農福連携推進関係機関とその役割等
- ⑤ **修了式(16:00-16:15)** (ぎふアグリチャレンジ支援センター)

岐阜県中濃総合庁舎



- 【交通】◇公共交通機関ご利用の場合
 長良川鉄道「松森駅」から徒歩20分
 岐阜バス高美線・岐阜美濃線「中濃庁舎」から徒歩1分
- ◇車をご利用の場合
 東海北陸自動車道「美濃IC」から1分

実習会場 (JAめぐみの カントリーエレベーター)



<所在地>
 関市黒屋 365